

4年にわたりコロナ禍の中、自治活動が全くと言っていいほどストップ、そんな中、ある自治会では若い人が中心となり活動されている自治会をご紹介します！



学園前コミュニティ自治会

7月28日(日)午後4時から学園前コミュニティふれあいセンター横の公園で夏祭りが始まりました。おやじの焼きそば、フランクフルト、かき氷、子どもの遊びコーナーが並ぶテントの前には、長い列ができていました。コロナ禍の影響で4年ぶりの開催となった公園には、延べ300名の人たちが集まりました。全自治会員の6割です。久しぶりに出会う人たちとあちこちで笑いが起き、成長した子どもたちが作り手になっていたり楽しい時間が続きました。

自治会が生まれて22年目。100名近くの子どもたちと、楽しいことは何でもやってみようという元気な人たちが、試行錯誤しながら基礎を作ってくれました。

「出来る人が出来ることを出来る時に」を合言葉に、みんなが集まれる夏祭り、秋の実りの集い、冬の餅つきという大きな行事を通じて顔見知りを増やし、助け合うことの大切さを実感できる自治会に育って来たと思います。

たくさんいた子どもたちも今は18名。高齢化は確実に進んでいます。そのため防災組織を立ち上げて、時代に合った助け合い活動を目指しています。安心して過ごせる思いやりにあふれた自治会、子どもたちがこの地を離れても帰りたくなる故郷であり、ここに住んでいる人はみんな仲間だと思える地域であり続けるために、私たちは頑張っていこうと思っています。

(東 睦子 記)



瀬田東文化振興会公式サイト
文化振興会の様々な活動を紹介していますので、ご覧ください。



瀬田東文化振興会だより(57号)
発行日 2024年1月1日
編集者 松田 文男
事務局 岩原 勇気
発行所 瀬田東文化振興会
大津市一里山三丁目16-1
大津市瀬田東公民館内
077-545-9001
発行責任者 竹内 稔

沼田む古代紫杜若
【評】あやめ、花菖蒲、杜若はいずれもアヤメ科の多年草。よく似た花で区別がつかないが、立地場所と葉の模様などで区別がつく。この中で最も古く万葉集にも登場するのは杜若で、沼地にひっそりと自生する。葉の中央に濃い紫の花弁を垂れて突き立てる。おひ、ほっそりとした体形の妙齢の女性がこちらを振り向いているようで、如何にも風情がある。初夏を彩るこの花の装いに、源氏物語の若紫と光源氏の会話が聞こえて来そうだ。

追憶

特選
俳句
岡俊明 選

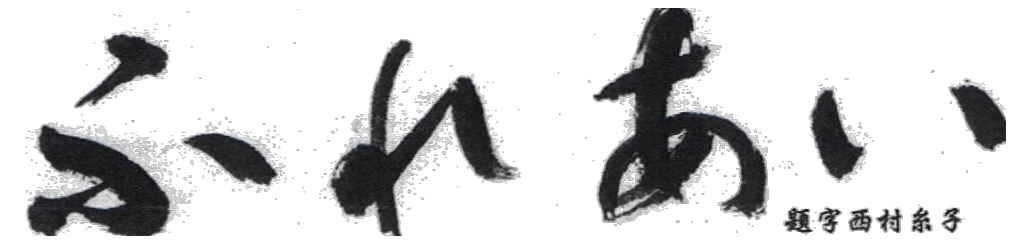
大津市 谷口 草生

撮影・佐伯友章

この句は瀬田東文化振興会が復元した国史跡源内峠製鉄遺跡付近を詠まれたと聞いています。(京都新聞社記事より抜粋)



瀬田東文化振興会だより 第57号 2024年1月
地域視点で新しい文化を創造し住みつけたいまち「瀬田東」



郷土のルーツを知る 古代の瀬田の歴史 2

滋賀県文化スポーツ部文化財保護課 福西 貴彦

前回は1. (1) 萱野神社と(2)「ヒコイマスオウ」についてご紹介をしました。

(3) 治田連

それでは瀬田と関係が深い治田連についてみていきたいと思います。

治田連は、当時の中央豪族の和邇臣の系列にあった豪族とされています。和邇臣は奈良盆地の北東部、現在の奈良県天理市和邇を本拠地とした一族で、五～六世紀に最盛期を誇った中央豪族です。『新撰姓氏録』では祖先が軍功を挙げ、浅井郡に土地を授かり、その地に水田を開いたとあります。族称の「治田」は墾田した土地に住んだことに因み、その時期は六～七世紀の頃と考えられています。

栗太郡にも「治田」に関連すると思われる地域があります。現栗東市の治田郷、草津市南笠周辺、大津市大萱周辺です。おそらくは、浅井郡の治田氏から何らかの理由で栗太郡に移り住んだ集団があったと考えられます。

先に述べましたが、南笠と大萱には「ヒコイマスオウ」を祭神とした神社があります。治田連は「ヒコイマスオウ」の子孫を称しており、先祖を祭った神社を建立したのだと考えられます。

古代の豪族は氏姓制度と呼ばれる、大王を中心として、それに軍事や祭祀といった職能を持つ集団が仕えるという政治形態を執っていました。この中において治田連は何の職能を持っていたのかは明らかではありませんが、栗東市治田や草津市南笠、大津市大萱にその痕跡が残されていることから、当地にまつわる職能を持っていたと考えられます。

2. 考古資料から見た古代の瀬田の歴史

次に考古資料、遺跡や遺物などから古代の瀬田の歴史を紐解いていきたいと思います。

(1) 近江国府

近江国府は大江三・六丁目、三大寺に所在しています。八世紀前半に設置されたと考えられています。



図1 近江国府遺構図
(安土城考古博物館編 2011)

日本の古代国家は中国の統治体制に学び、中央集権的な支配を実現するよう整備されました。民衆を公民として統治し、地方からの税を都へ集中させる支配体制を作るには、中央からの命令を地方へ早く確実に伝達させることと、実際に地域を支配してきた各地の豪族の伝統的権威も必要とされました。そして、中央の官僚機構のほかに、各地を統治する装置として地方官衙の整備が不可欠でした。そのような背景から近江国府が整備されたのです。

国府は各国での行政・司法・軍事・祭祀などの当時の行政全般、そのための施設が集中する地域のことです。現在でいうところ都道府県庁に当たります。この国府の中でトップの施設であるのが国庁で、中央から派遣された国司を中心として多くの地方官人が勤務していたと考えられています。まさに近江国の中心が瀬田にあった。

「次回に続く」

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、ご家族と共に健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染法上の分類が五類に移行されたことにより、四年ぶりに文化祭を開催することができ、天候にも恵まれ、佐藤健司津市長ほかご来賓のご祝辞を頂き、『復活文化祭、ふれあって、響き合う・瀬田東』のローガンのもと期間中、三千人超のご来場を頂くことができました。

地域の皆様方の文化芸術の発表や趣味の活動の披露の場であり、また体験ゾーンや模擬店等も賑わい、子どもから大人まで、多くの方が主役となって楽しんで参加頂ける催しとなり、地域の皆様方の交流・親睦の一助になったように思います。

文化振興会の皆様をはじめ、諸団体、自治会の役員の皆様、そしてお手伝い頂いた瀬田北中学校地域レンジャーの生徒の皆様方のお陰と感謝申し上げます。

今年も、安全に安心して暮らせる誰もが住んでいて良かったと思える街づくりのため、何卒皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

瀬田東学区自治連合会 会長 松田 全悟

体験コーナー



幼・小・中
作品展



写真 de 綴る 復活 第30回瀬田東学区文化祭

開会式



自治会展



3F ふれあい広場



学園前こども園

初参加



一里山みかりこども園

